

御 中

平成 年 月 日
アイカ工業株式会社甚目寺工場
化成品カンパニー
品質管理グループ
問合わせ先 052-443-4811

M S D S（製品安全データシート）のご送付案内とお願い

拝啓

貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、労働省の有害性等情報通知制度に基づき、下記品目のM S D Sを送付させていただきます。お取り扱いをされます貴社関係者のすべての皆様方に当M S D Sをご参考にして頂き、有害性情報等についてご周知くださるようお願い致します。
尚、誠に恐れ入りますが、M S D Sを受領されましたら「受領書」欄にご記入のうえ、速やかに弊社返送先までF A Xにてご返送くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

敬具

店所記入欄

店所名：	担当者：
ご送付日	平成 年 月 日
M S D S送付先顧客様	
製 品 名	

記入のうえ顧客様送付前に甚目寺工場生産企画課宛にF A Xお願いします。

M S D S 受領書

製品名 _____

返送先

アイカ工業株式会社甚目寺工場
生産企画部

FAXNo.052-443-4825

平成 年 月 日

貴社名： _____ ご担当部署： _____ ご担当者名： _____ 印

ご住所： _____ :

ご記入のうえ切り離さず本紙をそのまま返送先までF A Xにてご返送下さいますようお願い申し上げます。

以下、余白

製品安全データシート

1. 製品及び 会社情報

会 社 アイカ工業株式会社
住 所 愛知県あま市上萱津深見 2 4 番地
担当部門 化成品カパニ 品質管理グループ
電話番号 052-443-4811 FAX 番号 052-443-4825
緊急連絡先 担当部門に同じ

整理番号 : DJP - 0002 - 8

改訂日 2010年 4月 13日
作成日 1995年 7月 21日

製品名 (化学名, 商品名) ジョリパット JP - 100シリーズ

2. 危険有害性 の要約

GHS分類: 生殖毒性 区分1B
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素:

・絵表示



・注意喚起語	危険
・危険有害性情報	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
・注意事項	作業場所には局所排気装置を設けて換気を良くしてください。 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。 取扱い中には、保護手袋、前掛等を着用してください。 皮膚に触れた場合は、石けんやみがき粉をつけて水洗してください。 眼に入った場合は、水でよく洗い流した後、必要に応じて医師の診察を受けてください。取り扱い後は、手洗い洗面及びうがいを充分に行ってください。 一定の場所を定めて貯蔵してください。

製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3.組成及び成分情報	単一製品・混合物の区別：	混合物	
	化学名：	アクリル樹脂系仕上塗り塗材	
	成分及び含有量：	アクリル樹脂系	
	成分名	含有率（％）	C A S №
	アクリル樹脂	10～15	25586-24-7
	充填材・骨材	50～65	
	内；シリカ	1～5	112926-00-8
	酸化チタン	1～5	13463-67-7
	カーボンブラック	0～5	1333-86-4
	水	25～30	
	メタノール	0.53	67-56-1
	イソヘキサン	0.23	107-83-5
	灯油	0.30	8008-20-6
	鉱油	0.19	72623-87-1
エチレングリコールモノエチルエーテルアセート	0.67	111-15-9	
4.応急措置	目に入った場合：	・直ちに清浄な水で15分間以上洗眼する。まぶたの裏まで完全に洗うこと。	
	皮膚に付着した場合：	・付着物を布にて素早く拭き取る。 ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。 ・溶剤、シンナーは使用しないこと。 ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。	
	吸入した場合：	・空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、医師の診断を受ける。	
	飲み込んだ場合：	・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。 ・嘔吐物は飲み込ませないこと	
5.火災時の措置	消火方法：	・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。 ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。	
	消火剤：	水[○]、二酸化炭素[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]その他()	
6.漏出時の措置	使ってはならない消火剤：		
	人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：	・作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。	
	環境に対する注意事項：	・乾燥砂、土、おがくず等に吸収させて回収する。大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。	
	回収、中和：	・少量の場合は紙、布、砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。 ・大量の場合、何よりも拡散の防止を図る。できるだけ液体を容器に回収する。回収できなかったものに対しては、少量漏出時の措置をとる。 ・流出その他の事故が発生した時は警察署、消防署等の関係機関に連絡する。	
7.取扱い及び保管上の注意	取扱い：	・取扱いは、換気の良い場所で行う。	
	混合接触させてはならない物質	・知見なし	
8.暴露防止及び保護措置	保管：	・容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。 ・凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。 ・保管時の温度は、5以下あるいは40以上とならないようにする。 ・皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。	
	暴露濃度基準：		
		成分名	管理濃度
		メタノール	200ppm
		エチレングリコールモノエチルエーテルアセート	5ppm
	設備対策：	蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの装置を設置する。	
保護具：	呼吸用保護具：	呼吸器の保護具：状況に応じ、防塵マスク、防毒マスクを着用する。	
	保護眼鏡：	状況に応じ、普通眼鏡型、ゴーグル型を着用する。	
	保護手袋：	状況に応じ、PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。	
	保護衣：	状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。	

9.物理的及び 化学的性質	外 観：	ペースト状				
	臭 い：	特徴的な臭気がある				
	p H：	データなし				
	沸 点：	約1 0 0				
	融 点：	約0				
	初留点と沸点範囲：	データなし				
	引火点：	なし				
	蒸発速度：	データなし				
	引火または爆発範囲の上限/下限：	下記表参照				
	揮発性：	含有する溶剤は揮発性有り				
	蒸気圧：	データなし				
	蒸気密度：	データなし				
	比 重：	約1．5（2 0 ）				
	溶解性：	水で無限大に希釈可能				
	オクタノール/水分配係数：	データなし				
	発火点：	下記表参照				
	可燃性：	なし				
	酸化性	なし				
	自己反応性，爆発性：	なし				
G H S分類：						
	製 品	メタノール	イソヘキサン	灯油	エチレングリコール モノエチルエーテル アセテート	
引 火 点	なし	1 2	- 2 5	約4 1	約51～56	
発 火 点	データなし	4 7 0	約2 5 0	約245～296	3 7 9	
爆発範囲上限	データなし	3 6．5 vol %	7．5 vol %	6．5 vol %	1 0 vol %	
爆発範囲下限	データなし	6．0 vol %	1．0 vol %	0．7 vol %	1．7 vol %	
G H S分類：						
		メタノール	エチレングリコール モノエチルエーテル アセテート			
物理化学的危険性	引火性液体	区分2	区分3			
10.安定性及び 反応性	安定性：	通常の取扱い条件においては安定。				
	危険有害反応可能性：	特に無し。				
	避けるべき条件：	特に無し。				
	混色危険物質：	危険有害反応可能性参照。				
	危険有害な分解性生物：	知見なし。				
11.有害性情報	刺激性（皮膚，眼）：	・知見なし。				
	急性毒性：	L D L 50				
	（5 0 %致死量等を含む）					
	メタノール（ヒト）	4 2 8 mg / kg				
	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート （ラット 経口）	2 7 0 0 mg / kg				

GHS分類：

		メタノール	エチレングリコールモノ エチルエーテルアセテート
健康に 対する 有害性	急性毒性（経口）	区分5	区分5
	急性毒性（経皮）	区分外	分類できない
	急性毒性 （吸入：ガス）	分類対象外	分類対象外
	急性毒性 （吸入：蒸気）	区分外	分類できない
	急性毒性（吸入： 粉塵、ミスト）	分類できない	区分外
	皮膚腐食性 / 刺激性	分類できない	区分3
	眼に対する重篤な 損傷性 / 眼刺激性	区分 2A-2B	区分 2B
	呼吸器感受性又は 皮膚感受性	呼吸器： 分類できない 皮膚感受性： 分類できない	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外	区分外
	発がん性	分類できない	分類できない
	生殖毒性	区分 1B	区分 1B
	標的臓器 / 全身毒性 （単回暴露）	区分 1（中枢神経 系、視覚器、全身 毒性） 区分 3（気道刺激 性、麻酔作用）	分類できない
	標的臓器 / 全身毒性 （反復暴露）	区分 1（中枢神経 系、視覚器）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない

12. 環境影響情報

JP-100 シリーズとしての知見なし。下記の成分について環境影響に関する試験結果を示す。
 アクリル樹脂：JIS K0102「工場排水試験方法」の魚類による急性毒性試験の項に準拠し、ヒメダカによる48時間LC50(Median lethal concentration:半数致死濃度)試験の結果10,000mg/L以上であった。
 試験は試験区（公比1.4）及び対照区について1区当たり10尾のヒメダカを用い、水温24±1、止水式で行った。また、試験の結果10,000mg/L以下で死亡が見られなかったためLC50=10,000mg/L以上とした。
 防藻剤：使用している防藻剤を1%配合したアクリル樹脂をルート板(10 cm×10 cm)に塗布、乾燥後、このルート板5枚を水道水20ℓに浸漬し、試験水とする。この試験水を1週間に1回、計10回、各植物に散布し、薬害の有無を確認する。結果、高麗芝、イヌツゲ、ツバキ、サツキのいずれにおいても植物への影響はみられなかった。
 漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。

GHS分類：

		メタノール	エチレングリコールモノ エチルエーテルアセテート
環境に 対する 有害性	水生環境 有害性（急性）	区分外	区分3
	水生環境 有害性（慢性）	区分外	区分外

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄は焼却により行う。これを含む排水は凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。その他、水質汚濁防止法、廃棄物処理法の定めるところに従う。
 汚染容器・包装： 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14.輸送上の注意	国連分類： 非該当 国連番号： 非該当 「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。 その他、消防法，船舶安全法等の法令に定める所に従う。 容器に漏れのない事を確かめ、転倒，落下，破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実に行う。
15.適用法令	消防法： 該当せず 毒物及び劇物取締法： 該当せず 労働安全衛生法： 第 57 条 1 表示対象物質 メタノール 第 57 条 2 通知対象物質 メタノール、ヘキサン、灯油 シリカ、酸化チタン() 鉱油、カーボンブラック エチルグリコール/エチレングリコール P R T R 法： 該当せず
16.その他の情報	J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上塗材)認定品 ホルムアルデヒド放散による区分 F 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。 また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
	引用文献： ・ 1 2 0 9 3 の化学商品 中央労働災害防止協会 ・ 化学物質の危険，有害便覧 中央労働災害防止協会 ・ 知っておきたい職場の化学物質 日本化学工業協会